

成人年齢がまだ20歳で1月15日が成人の日と呼ばれていた。55年前のその日、勤めていた大阪の工場から外を見ていると、晴れ着姿の女の子が歩いていった。

先輩に「今日は何かあるの」と尋ねると、先輩は、「成人の日やんか。どこの会場に行くくんじやないん」と言った。田舎から出てきたばかりの私は、そのへんの事情に疎かった。終業を告げる午後5時の

### 55年前の成人の日

サイレンが鳴ると、その先輩が「今日は良い所に連れてつてあげる」と誘った。

「うれしいな」と私服に着替えていると「神戸に行くよ」と言う。行ったことない。異国情緒たつぷりの雰囲気を想像した。「早く」とせかさされ電車に乗った。

どんなレストランに入っただかは覚えていない。先輩が「今日からビールを飲んでもええんよ」と笑った。ビール？ 飲んだことな

い。どきどきした。

テーブルに座ると早速ビールが来た。一口飲んだ。

「苦い。これがビールか」。人生初のスパゲティにも挑戦した。先輩はスプーンとフォークを使って上手に口に運んだ。「へえ、そんなにして食べるんか」

すてきな思い出をつくってくれた先輩に感謝しかない。大人として心を大切に、自分のことは自分で決めようと思った日だった。